

アルボン

P-800-B 下水

作業される方の健康に害のないエポキシ樹脂

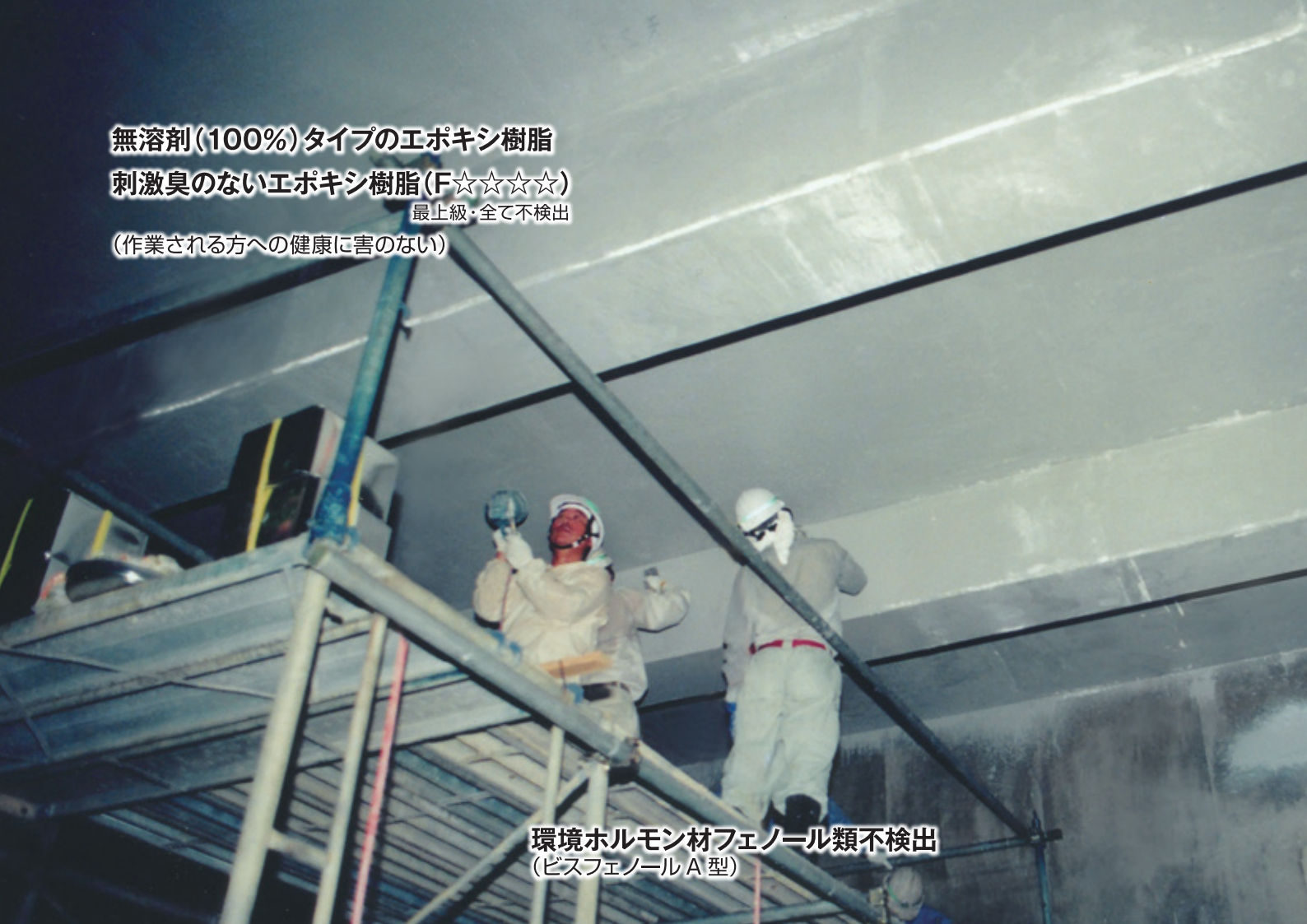
100%無溶剤タイプ

環境対応型

(ビスフェノールA型)

湿潤面対応エポキシ樹脂

無溶剤(100%)タイプのエポキシ樹脂
刺激臭のないエポキシ樹脂(F☆☆☆☆)
最上級・全て不検出
(作業される方への健康に害のない)



環境ホルモン材フェノール類不検出
(ビスフェノールA型)

湿潤面対応エポキシ樹脂
(洗浄直後の下地)



48時間~72時間後に使用可能

アルボンP-800-B、L工法は日本下水道事業団
C種に対応すべく開発された工法です。

アルボンE-700PW・S 速硬化タイプ

下地不陸調整材、コンクリート補強材

■一般性状

品名	主剤	主剤
外観	主剤	灰色ペースト
	硬化剤	淡黄白色ペースト
	混合物	灰白色ペースト
比重(25℃)	混合物	1.53
粘度(25℃)	主剤	260,000mpa・S
	硬化剤	216,000mpa・S
配合比(重量比)	主/硬	1/1
可使用時間	500g, 25℃	20~30分

■物性

項目	代表値	単位
JIS硬度D	70	JIS-K 6833
引張強度	8.2	N/mm ²
圧縮強度	26.8 25%変形時	N/mm ²
付着強度(モルタル(湿潤))	3.64	N/mm ²

25℃×7日

アルプラEP-15 水系エポキシ樹脂

■一般性状

項目	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂、水	変性ポリアミン、水
外観	白色乳白色	淡黄乳白色
粘度(25℃)	40mPa,s	40mPa,s
比重(25℃)	1.02	1.00
不揮発文	26%	40%
PH(2%水液)	7	10
配合比(重量比)	4	1
可使用時間	25℃・・・2.5時間(1kgスケール)	
指触乾燥	25℃・・・3時間以上	
硬化時間	25℃・・・24時間以上	

■物性

項目	状態
硬度(鉛筆硬度)	H~HB
エクセリン試験	3mmOK
折り曲げ試験	10mmOK
耐水性(清水浸漬)	7日間異常なし
耐アルカリ性	20%水酸化カルシウム液 7日間異常なし
付着強度(KN)	5.12/建研式

製品一覧

品名	荷姿		色調	用途
	主剤	硬化剤		
アルボンP-800-B	9kg	9kg	各色	下水槽、その他排水槽

副資材一覧

品名	荷姿		用途
	主剤	硬化剤	
アルプラEP-15	8kg	2kg	水系エポキシプライマー・混和材
アルボンE-700PW	5kg	5kg	下地不陸調整(湿潤用)弾性タイプ
アルボンE-700PW・S	5kg	5kg	下地不陸調整(湿潤用)速硬性
ガラスクロス	1,040mm(W)×100m(L)		エポキシライニング補強材
ガラスクロス	1,040mm(W)×120m(L)		エポキシライニング補強材
ガラスクロステープ	50mm・75mm・100mm・160mm(W)		エポキシライニング補強材
カーボン繊維	330mm・500mm(W)×50m(L)		エポキシライニング補強材
アラミド繊維	300mm・500mm(W)×50m(L)		エポキシライニング補強材
セピオライト鉱石	5kg		増粘材

アルボンP-800-B 下水防食

■一般性状

品名	P-800-B		
項目	主剤	硬化剤	試験規格
外観	各色ペースト	淡黄白色ペースト	目視
主成分	変性エポキシ	変性脂肪族ポリアミン	—
混合粘度	10,000mPa-s		JIS K6833準拠
比重	1.40	1.70	JIS K6833準拠
混合比重	1.55		JIS K6833準拠
配合比(重量比)	1	1	—
可使用時間 25℃	30~40分		JIS K6833準拠
硬化時間 25℃	24時間以上		JIS K6833準拠

■物性

項目	代表値	単位	試験規格
硬度 JIS D	87	—	JIS K7215準拠
引張剪断接着強度	12.0	N/mm ²	JIS K6850準拠
圧縮強度	120	N/mm ²	JIS K6911準拠
引張強度	47	N/mm ²	JIS K7113準拠
曲げ強度	73	N/mm ²	JIS K6911準拠
付着強度 モルタル(標準)	3.18	N/mm ²	JIS K6909準拠
付着強度 モルタル(湿潤)	2.85	N/mm ²	JIS K6909準拠

25℃×7日

■耐薬品

薬品名	評価	薬品名	評価
10% 塩酸	○	100% エタノール	×
10% 硫酸	○	アセトン・MEK	×
10% 硝酸	○	トルエン・キシレン	×
5% 酢酸	△	ガソリン・ナフサ	◎
10% 酢酸	△	灯油・マシン油	◎
10% 乳酸	×	食用油	◎
5% 燐酸	△	飽和食塩水	◎
10% 燐酸	×	10% アンモニア水	○
5% 蟻酸	×	10% 苛性ソーダ	○

(60日常温浸漬)

■耐熱水生浸漬試験

項目	状態
硬度変化	87
重量変化	0
膨潤率	0

浸漬条件90℃/4時間×14日間

評価は適正の傾向を表したものであって、耐性を保証するものではありません。実際の適用については打合せの上決定してください。

◎非常に良い
○良好
△やや侵される
×侵される

アルボンE-700PW 湿潤面对応 弾性タイプ

湿潤面接着と適度な弾性を特徴とするエポキシ樹脂、下地不陸調整材、耐震補強材

■一般性状

品名	E-700PW	
外観	主剤	灰色ペースト
	硬化剤	淡黄白色ペースト
	混合物	灰白色ペースト
比重(25℃)	混合物	1.59
粘度(25℃)	主剤	300,000mpa·S
	硬化剤	350,000mpa·S
配合比(重量比)	主/硬	1/1
可使用時間	500g, 25℃	50~60分

■物性

項目	代表値	単位
JIS 硬度 D	44	JIS-K 6833
引張強度	3.1	N/mm ²
伸び率	80	%
付着強度モルタル(湿潤)	5.55	N/mm ²

25℃×7日



リシンガン使用塗布



リシンガン使用塗布後、コテ類使用均し作業



リシンガン使用天井塗布



LW-GP



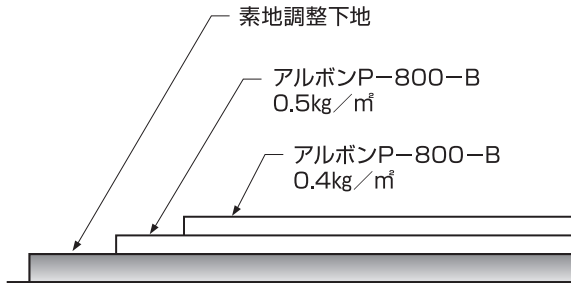
マンホールライニング（洗浄清掃）



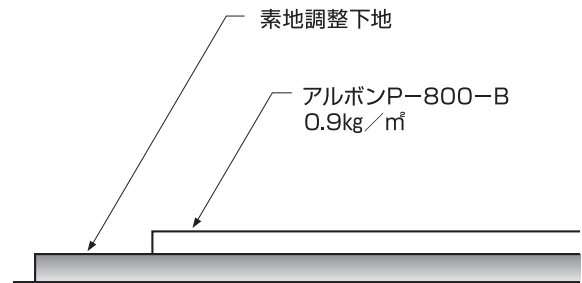
LS-20

B種

■ LS-15P (新設壁・天井)

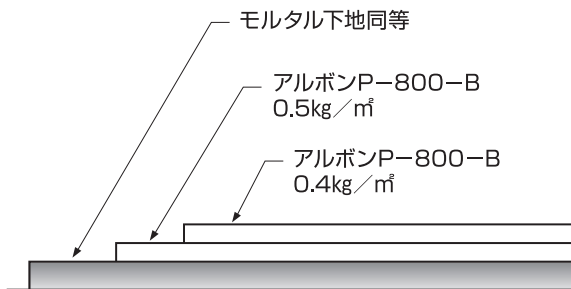


■ LS-15P (新設床)

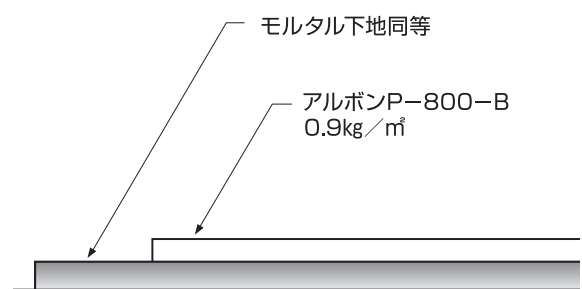


B種

■ LS-15 (モルタル、コンクリート壁・天井)

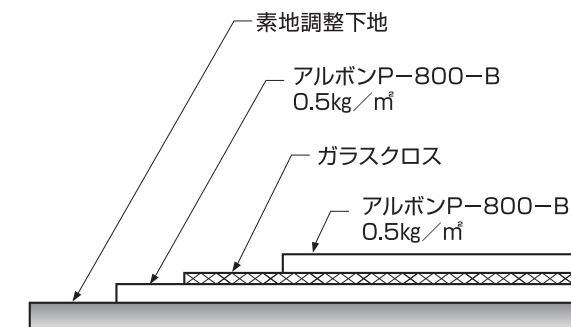


■ LS-15 (モルタル、コンクリート床)

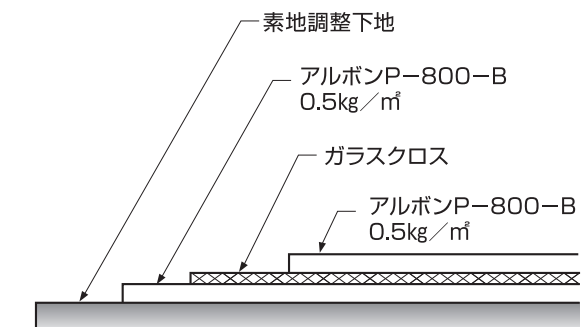


C種

■ LW-GP (新設壁・天井)



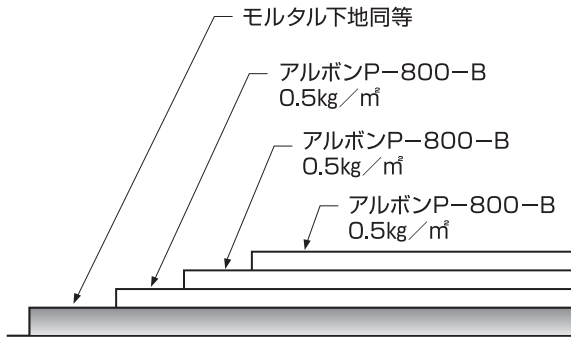
■ LW-GP (新設床)



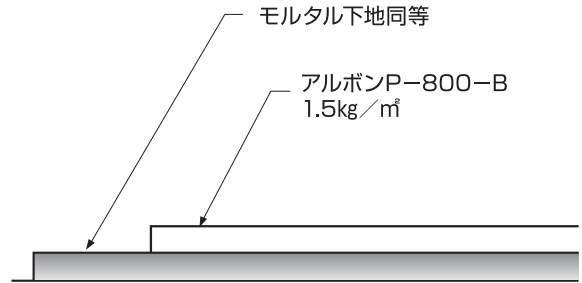
※アルボンP-800の希釈を目的としての溶剤(トルオール、エポキシシンナー)類の使用は禁止します。

C種

■ LS-20 (モルタル、コンクリート下地壁・天井)



■ LS-20 (モルタル、コンクリート下地床)



※アルボンP-800の希釈を目的としての溶剤(トルオール、エポキシシンナー)類の使用は禁止します。

プライマーを必要とするとき

乾燥したコンクリートは息をしていますピンホールの発生の原因になります
 改修下地でも新たに造作したコンクリート、モルタル下地は乾燥しています
 以上のような時はプライマー処理としてアルブラEP-15を塗布

素地調製材

品名	荷姿	配合	用途
無機セメント系粉体	20kg粉体	アルブラEP-15と混練	打ち放しコンクリートの下地調整

※打ち放しコンクリートは、穴があいていたりします。このような状態の時は、本塗装前の下地調整をする必要があります。
 無機セメント系粉体とアルブラEP-15の混練下地調整材は、24時間(20℃)で硬化しますが、安定強度は48~72時間(20℃)必要とします。

試験項目	アルブラEP-15	無機セメント系粉体
主成分	水系エポキシ	ポルトランドセメント+珪砂
配合比(重量比)	1	2

■物性

	試験方法	試験結果	試験方法
乾燥時	コンクリート	38.0 N/mm ²	建研式
湿潤時	コンクリート	33.0 N/mm ²	建研式

塗布後48~72時間(20℃)

危険物

- アルボンP-800は消防法の規制を受けます。
火気厳禁(第四類第三石油類等級Ⅲ)
- アルボンE-700は対象外。



使用上の注意

1. 取り扱いの際は必ず手袋を着用してください。
2. エポキシ樹脂が皮膚に付着した時は中和石鹼水で洗い流してください、
大量に付着した時はアルコール系の溶剤で拭き取ってください、さらにその後で中和石鹼水を使用して洗ってください。
3. 皮膚に付着した後でかゆみ、湿疹がその後も残るようでしたら医師の診察を受けてください。
4. 手にエポキシ樹脂が例えついていなくとも目の周囲または皮膚の薄い部分などをこすらないように注意してください。
5. 目の中にエポキシ樹脂が入った時は直ちに流水で目を洗ってください、その後早急に医師の診察を受けてください。
6. エポキシ樹脂を誤って飲み込んでしまった時は、応急処置として大量の水を飲ませて胃の中に入ったエポキシ樹脂と共に吐き出させてください、その後早急に医師の診察を受けてください。
7. 作業終了後及び食事前は必ず水でうがいをしてください。
8. 作業終了後は必ず皮膚の露出している部分を重点的に中和石鹼水で洗ってください。

発売元

三石株式会社

アルプス化学産業株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目39番地12号
TEL.03-3813-4050 FAX.03-3813-4650
E-mail: sanseki@epoxy.co.jp
<http://www.epoxy.co.jp>

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝4088